

人間社会学部社会福祉学科

1. 社会福祉学科の方針

社会福祉学とは、さまざまな生活上の困難をかかえる人々を支援し、その問題解決のために必要な制度・政策、そして具体的援助方法を学ぶ学問です。

今日の急激な社会変化のなかで人々が直面する生活問題は複雑多様化しています。こうした状況に対応するため社会福祉が対象とする領域はますます幅広くなると同時に社会福祉学への社会的な期待も一層高まっているのが現状です。したがって社会福祉を学ぶためには

- (1) 人間と社会、そして両者の関係性について深い関心と理解をもつ。
- (2) 社会のなかで生活する人々がどのような困難やニーズをもつのか正確に把握する。
- (3) 生活上の困難やニーズに対応する制度・政策、そしてその仕組みと運用法について理解する。
- (4) 社会福祉を実践する専門家として必要な具体的援助方法を習得する。

等が必要です。

社会福祉学科では学生に上記の要件を満たすカリキュラムを提供し、社会福祉の推進に寄与する人材の育成を目的にしています。

2. 専門科目の履修

(1) 専門科目

社会福祉学科では部門別に次のような専門科目を提供しています（Ⅰ・Ⅱ等は省略）

- | | |
|----------|--|
| ① 基礎部門 | 社会福祉学概論、社会福祉史入門、社会保障論、社会福祉法制論など |
| ② 運営方法部門 | 相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、相談援助演習、精神保健福祉援助技術各論など |
| ③ 分野対象部門 | 公的扶助論、老人福祉論、障害者福祉論、地域福祉論など |
| ④ 実習 | 相談援助実習、精神保健福祉援助実習など |
| ⑤ 関連科目 | 医学概論、発達心理学、精神保健学、現代社会論など |

これらの科目のなかには卒業するためには必ず履修しなければならない科目、国家試験（社会福祉士・精神保健福祉士）を受験するために履修しておかなければならない科目、自分の研究テーマを深めるために各自が選択できる科目等があります（別表参照）。自分の将来的な目標にあわせて履修計画を立ててください。またカリキュラムは基礎的な内容から応用的な内容の科目へと体系的に編成されています。したがってできるだけ指定された年次に履修し、単位を取得することが望めます。

(2) ゼミ（社会福祉学演習）選択と卒業論文

3年生の後期からゼミが始まります。ゼミとは各学生が選択した教員のもとでおこなわれる少人数の演習形式による授業です。3年生になるとそれまでに受講してきた講義や実習体験、またボランティア活動の中などで自分が興味をいだく研究テーマが次第に明確になってきます。ゼミはそのテーマを一層深く探求し、卒業論文としてまとめていくためにあります。したがって1、2年生の頃から自分がどのような領域を専門的に研究してみたいのかを常に考えておく姿勢がもとめられます。

そして4年生になるとその成果を卒業論文として提出しなければなりません。字数は 20,000

字（400字詰め原稿用紙で50枚）以上で、提出日は例年12月20日に指定されています。卒業論文とはいわば大学で勉強したことの集大成ですので是非とも自分自身が納得できる論文を仕上げてください。

なお、論文を提出する4年生の12月は国家試験の準備や就職活動の時期と重なり、多忙になることが予想されます。したがって卒業論文はできるだけ早くから着手することが望ましいでしょう。

3. 資格取得と進路

社会福祉学科では「社会福祉士」と「精神保健福祉士」の国家試験受験資格、及び「社会福祉主事」の任用資格が取得できるカリキュラムを提供しています。さらに社団法人社会福祉士養成校協議会による「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定」カリキュラムを用意しています。

いずれについても、詳しくはこの便覧の「資格・免許の取得」を参照してください。

(1) 社会福祉士

社会福祉士とは、登録を受け、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助（「相談援助」という。）を行う専門職です。国家試験は例年1月末におこなわれ、4年生の時に受験できます。ただし、受験するには指定された科目を履修しておかねばなりません。社会福祉士の資格が活かせる就職先は、主に社会福祉施設、社会福祉関連の機関や病院等です。

(2) 精神保健福祉士

精神保健福祉士とは、登録を受け、精神保健福祉士の名称を用いて、精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助（「相談援助」という。）を行う専門職です。社会福祉士と同様、指定科目の履修が国家試験受験の要件になります。精神保健福祉士の資格が活かせる就職先は、主に精神科病院、精神障害者の社会復帰施設、行政機関の精神保健福祉に関わる部署等です。

なお本学科では、精神保健福祉士の受験資格取得については原則として社会福祉士の受験資格取得を前提にしています。

(3) 社会福祉主事

社会福祉主事は「社会福祉法」に定められた任用資格です。行政機関、社会福祉協議会、民間施設で特定の職務を担当する時必要になる場合があります。この資格を得るには在学中に定められた科目を修得しておく必要があります。

(4) 「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定」について

詳しくは83p～84pを見てください。

別表第5 社会福祉学科専門教育科目（※は共通専門科目）

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎部門	※社会福祉学概論Ⅰ	2		講義	2				
	社会福祉学概論Ⅱ	2		講義	2				
	※社会保障論Ⅰ		2	講義		2			
	※社会保障論Ⅱ		2	講義		2			
	社会福祉史入門		2	講義	2				
	社会福祉発達史		2	講義			2		
	社会福祉法制論A		2	講義			2		
	社会福祉法制論B		2	講義			2		
	福祉社会学		2	講義			2		
	社会病理学		2	講義		2			
	コミュニティ論		2	講義		2			
	社会福祉学演習	2		演習				2	3年次後期～4年次前期開設
運営方法部門	福祉行財政と福祉計画		2	講義			2		
	福祉経営論		2	講義			2		
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2		講義	2				
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2		講義	2				
	相談援助の理論と方法A		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法B		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法C		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法D		2	講義			2		
	社会福祉調査法		2	講義			2		
	相談援助演習A		2	演習		2			
	相談援助演習B		2	演習			2		
	相談援助演習C		1	演習			1		
	介護技術演習		1	演習			1		
	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ		2	講義			2		
	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ		2	講義			2		
	精神保健福祉援助演習		2	演習				2	
学校ソーシャルワーク論		2	講義				2		
学校ソーシャルワーク演習		1	演習				1		
分野対象部門	公的扶助論		2	講義		2			
	児童福祉論		2	講義		2			
	障害者福祉論		2	講義		2			
	老人福祉論		2	講義		2			
	介護福祉論		2	講義		2			
	精神保健福祉論Ⅰ		2	講義		2			
	精神保健福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	精神保健福祉論Ⅲ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅰ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	家族福祉論		2	講義			2		
	保健医療論		2	講義		2			
	国際社会福祉論		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成23年度は開講しない
	就労支援		1	講義		1			
	権利擁護と成年後見制度		2	講義			2		
司法福祉論		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成23年度は開講しない	
更生保護		1	講義			1			
特講	社会福祉特講A		2	講義		2	(2)		隔年開講 平成22年度は開講しない
	社会福祉特講B		2	講義	2				
	社会福祉特講C		2	講義			2		

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
実習	社会福祉調査実習		1	実習			1		
	相談援助実習		4	実習			4		
	相談援助実習指導		3	演習			3		2年次～3年次
	精神保健福祉援助実習		8	実習				8	
	学校ソーシャルワーク実習		2	実習				2	
	学校ソーシャルワーク実習指導		1	演習				1	
関連科目	医学概論		2	講義	2				
	倫理学		2	講義		2			
	公衆保健		2	講義		2			
	福祉機器論		2	講義			2		
	外書講読		1	演習			1		
	地方自治論		2	講義			2		
	労働経済論A		2	講義		2			
	労働経済論B		2	講義		2			
	現代社会論A（ジェンダー・世代）		2	講義		2			
	現代社会論B（情報社会論）		2	講義		2			
	地域社会学Ⅰ		2	講義	2				
	地域社会学Ⅱ		2	講義			2		
	NPO論		2	講義			2	(2)	隔年開講
	家族法		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成22年度は開講しない
	住環境論		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成22年度は開講しない
	発達心理学Ⅰ		2	講義	2				
	発達心理学Ⅱ		2	講義	2				
	発達心理学Ⅲ		2	講義		2			
	老年心理学		2	講義			2		
	老年期医学		2	講義			2		
精神保健学Ⅰ		2	講義		2			人間形成学科の精神保健学と共通	
精神保健学Ⅱ		2	講義		2				
精神医学Ⅰ		2	講義			2			
精神医学Ⅱ		2	講義			2			
精神科リハビリテーション学Ⅰ		2	講義			2			
精神科リハビリテーション学Ⅱ		2	講義			2			
共通専門科目（他学科開設）	※社会心理学		2	講義	2				
	※データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1		
	※データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		
	※家族社会学Ⅰ		2	講義		2			
	※家族社会学Ⅱ		2	講義		2			
	※教育学概論		2	講義	2				
	※生涯教育論		2	講義		2			
	※社会教育論		2	講義		2			
	※パーソナリティ論		2	講義	2				人間形成学科の人格心理学と共通
	※コミュニケーション論		2	講義	2				
卒業論文	6						6		

※共通専門科目は、他学科で開設される3科目以上を含んで、6科目以上選択必修